

社会福祉法人スマイルワーク  
令和4年度事業報告

I 法人関係

1. 生活介護事業開設に向けた準備状況

- |                                     |                    |
|-------------------------------------|--------------------|
| (1) 保護者役員会への説明会開催                   | 10月18日(火)          |
| (2) 職員会議での全職員への説明                   | 10月20日(木)          |
| (3) 第4回理事会での審議・承認                   | 11月8日(火)           |
| (4) 第2回評議員会での審議・承認                  | 11月24日(木)          |
| (5) 開設までの具体的な準備等についての確認             | 11月28日(月)          |
| (6) 保護者説明会開催                        | 12月4日(日)           |
| 保護者25名 職員9名                         |                    |
| (7) フレンズ改良工事打合せ 花塚工業                | 12月7日(水) 12月14日(水) |
|                                     | 1月5日(木)            |
| (8) 生活介護事業に係る先進施設視察                 | 12月12日(月)          |
| つばさ福祉会 あぶくま福祉会 理事長 施設長 主任           |                    |
| (9) 保護者面談                           | 12月19日(月)          |
|                                     | 1月13日(金)～1月23日(月)  |
| (10) 生活介護事業所の名称検討 職員会議              | 1月19日(木)           |
| (11) 生活介護事業所の名称決定「スマイルエール」          | 1月23日(月)           |
| (12) 開設申請                           | 2月3日(金)            |
| (13) スマイルエール利用者の確認、取り扱う作業種の確認       | 2月6日(月)            |
| (14) 生活介護事業開設に伴う規程制定、関連規定の一部改正      |                    |
| 第6回理事会                              | 2月10日(金)           |
| 第7回理事会                              | 3月9日(木)            |
| 第3回評議員会                             | 2月27日(月)           |
| 第4回評議員会                             | 3月24日(金)           |
| (15) 開所式準備開始                        | 2月22日(水)           |
| (16) 人事異動内示                         | 3月10日(金)           |
| (17) スマイルエールの運営等について 職員会議           | 3月15日(水)           |
| (18) 保護者説明会 スマイルセンター、スマイルエールの運営について | 3月19日(日)           |
| (19) スマイルエール看板設置                    | 3月27日(月)           |
| (20) スマイルエール開所式                     | 4月3日(月)            |

## 2. 各種会議等の開催状況

### (1) 監事会

会議名	開催月日	場所	出席者数	
			監事	理事
監事会	令和4年 5月7日	スマイルセンター 一会議室	2	2

### (2) 理事会

会議名	開催月日	場所	出席者数	
			理事	監事
第1回理事会	令和4年 5月25日	はまなす館 第1会議室	3	2
第2回理事会	令和4年 7月12日	はまなす館 第1会議室	5	1
第3回理事会	令和4年 9月29日	スマイルセンター 食堂	5	2
第4回理事会	令和4年 11月8日	はまなす館 第1会議室	4	1
第5回理事会	令和4年 12月15日	はまなす館 第1会議室	4	1
第6回理事会	令和5年 2月10日	はまなす館 第1会議室	5	2
第7回理事会	令和5年 3月9日	はまなす館 第1会議室	5	2

### (3) 評議員会

会議名	開催月日	場所	出席者数		
			評議員	監事	理事
第1回評議員会	令和4年 6月7日	はまなす館 第3会議室	7	2	2
委嘱状交付式	令和4年 7月27日	スマイルセ ンター会議 室	2		2
第2回評議員会	令和4年 11月22日	はまなす館 第3会議室	6	2	2
第3回評議員会	令和5年 2月27日	はまなす館 第3会議室	5	2	2
第4回評議員会	令和5年 3月24日	はまなす館 第3会議室	5	2	2

(4) 苦情解決第三者委員会

会議名	開催月日	場所	出席者数
第1回苦情解決第三者委員会	令和4年 4月13日	スマイルセンター 会議室	3
委嘱状交付式	令和4年 4月13日	スマイルセンター 会議室	3
第2回苦情解決第三者委員会	令和4年 9月27日	スマイルセンター 会議室	4
第3回苦情解決第三者委員会	令和5年 2月22日	スマイルセンター 会議室	2

(5) 評議員選任・解任委員会

会議名	開催月日	場 所	出席者数	
			委員	理事
第1回評議員選任・解任委員会	令和4年 7月20日	スマイルセンター 会議室	4	2
評議員選任・解任委員会委嘱状交付式	令和5年 3月2日	スマイルセンター 会議室	4	2

3. 新型コロナ感染状況

(1) 7月 フレンズ職員1名 陽性者となる。

① 濃厚接触者

職員1名 利用者3名

② 措置

・フレンズを休園措置とする。

7月8日～13日まで

濃厚接触者は7月14日まで出勤停止

・フレンズ事業所の消毒 7月9日 スマイル職員5名

・家庭生活の状況把握 7月8日～14日

(2) 8月 スマイル職員1名感染

濃厚接触者は無し。通常の営業を行う。

(4) 9月 スマイルセンター職員1名 陽性者となる。

濃厚接触者は無し。通常の営業を行う。

(5) 9月 フレンズ利用者1名 陽性者となる。

濃厚接触者は無し。通常の営業を行う。

(6) 11月 スマイルセンター利用者1名 陽性者となる

濃厚接触者は無し。通常の営業を行う。

- (7) 12月上旬 スマイルセンター職員1名 陽性者となる。  
濃厚接触者は無し。通常の営業を行う。
- (8) 12月19日から下旬 スマイルセンター利用者15名 職員1名 陽性者となる。12月20日(火)～23日(金) 臨時休業措置
- (9) 12月26日(月) 臨時職員会議でコロナウイルス感染症対策の見直しを行った。

#### 4. 人権擁護・虐待防止に向けた取組

- (1) 虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会を定期的開催し、苦情受付状況、職員チェックリストの点検、利用者の行動上の問題点等を協議し結果を職員会議の場で報告・意見等の集約を行い、実効性のある取組に努めた。
- (2) 「職員倫理要綱」、職員の行動指針」を職員会議で再確認し、職員の規範意識の高揚と支援場面での留意事項等を示し不祥事防止に活用している。
- (3) 定期的に利用者と面談し、虐待や要望等についての聞き取りを行った。
- (4) 人権擁護・虐待防止に関する掲示  
利用者本位の支援と自己の行動の振り返りに活かすため、職員の目につきやすい場所に人権擁護、虐待等の防止のための掲示物を貼付している。
- (5) スマイルボックスの活用  
毎月、担当者がスマイルボックスの活用について説明し、利用者自身の人権や虐待に関する意識の向上を図っている。
- (6) 東北地区人権倫理委員会アンケート実施し防止体制等についてチェックを行い、職員会議で結果を協議した。
- (7) 虐待に関する研修会を開催した。
  - ・相双基幹相談センター管理者 須藤康宏様を招聘

#### 5. 事業等の評価の実施

- (1) 内部評価  
令和5年度の運営改善に向けて、自己点検チェックリストの活用や作業支援、係業務の反省等を行い成果や課題、改善事項を洗い出し事業計画等に反映させるようにした。
- (2) 施設利用満足度調査  
利用者や保護者によるアンケートを通し、事業やサービス提供について評価する機会を設けた。結果について、苦情解決第三者委員会に提出するとともに、保護者の意見に対する回答を含めて各家庭にお知らせした。
  - ① 実施期間 令和5年1月13日(金)～令和5年1月19日(木)
  - ② 評価内容13項目
    - Q1 職員のあいさつや態度
    - Q2 職員の利用者に対する接し方
    - Q3 広報誌や文書等の見やすさ、わかりやすさ
    - Q4 個別支援計画書への本人・家族の意向の反映



## Ⅱ 就労支援事業所スマイルセンター・フレンズ関係

### 1. 就労支援の状況

利用者の持ち味やよさを伸ばさせながら作業工程の工夫、治具の開発と提供、本人の意志決定を重視した関わり等、障がいの特性に応じた支援の充実に努めた。

作業工程の細分化、治具の開発、本人の意志決定を重視した関わり等、障がいの特性に応じた支援の充実に図りながら一人ひとりが仕事へのやりがいを感じながら作業意欲や知識、技能の向上を図るよう努めた。

### 2. 業務種類及び内容

はまなす館清掃、郷土蔵清掃、部品点検（福島ニチアス）、海苔のし（サンエイ海苔）、ダンボール組立（東部段ボール）、シャープペン・ボールペン組立（佐藤ボールペン）、エアークリップカット（福島ニチアス）の各作業、自主作業として廃品回収、藍染、コロタン栽培を実施した。臨時的な作業として、ヘッダー付け、福島労働局相馬官舎の除草を行った。

本年度、新規に導入した作業はないが、作業の拡大と工賃向上のための収益の増加に努めた。

藍染めについては、藍染は、県振興会等を窓口に関内・県外で販売活動を継続している。10月に新装オープンした道の駅相馬で常設販売を開始した。原町の協力店に加え2店舗での販売が可能となっている。

ハウスの利用については、コロタン栽培、販売後、試験的に野菜を栽培し小規模ながら販売を行った。

また、毎月の作業会議で、利用者の取り組み状況や発注・納品・収益の現状と課題、今後の見通し等について確認及び協議を行い、効果的な支援と収益の確保、工賃向上を目指した。

令和4年度に実施した作業内容は以下の通りである。

業務種類	内容
1. 受託・請負作業 (1) 清掃作業  (2) 海苔作業	<ul style="list-style-type: none"><li>相馬市総合福祉センターはまなす館清掃</li><li>海苔のし加工、異物除去作業</li></ul>
2. 製造・加工作業 (1) 段ボール作業 (2) シャープペン・ボールペン作業 (3) エアークリップカット作業 (4) 臨時作業	<ul style="list-style-type: none"><li>段ボール組み立て等</li><li>シャープペンやボールペンの組み立て</li><li>エアークリップカット</li><li>正月しめ飾りヘッダーつけ</li></ul>
3. 自主作業	

(1) 廃品回収	・ 段ボール、空き缶等の回収、仕分け
(2) 藍染	・ 藍染（マスク、ショール、バンドナ等）製品づくり、販売
(3) コロタン栽培	・ コロタン栽培、販売
4. 企業内作業 福島ニチアスの作業	・ ピンゲージリングの点検 ・ 段ボール仕切詰め、組み立て

### 3. 工賃向上について

#### (1) 収入実績 単位：円

過去3年間で最高額の収入となった。要因として、資源物回収が堅調であったこと、藍染の販売促進、福島ニチアスの作業日数が増えたことなどがあげられる。

年度	2年度	3年度	4年度
合 計	8,500,930	9,314,334	9,904,084

#### (2) 工賃向上について

本年度の工賃向上計画作成を県に提出すると共に、保護者に対しては、工賃支給方針、工賃目標を提示し工賃向上に向けて取組を進めた。

#### (3) 工賃支払実績（月額）

1人あたり平均 15,048円（令和4年度目標金額15,000円）

### 4. 生活及び作業支援について

自立的な生活態度や習慣を育成するため、年2回の個別支援計画の作成を行い、計画に基づいて支援を行った。

#### (1) 個別支援計画の作成・見直し

ひとり一人の実態に応じた個別支援計画の作成と実施、評価、改善について、職員会議や個別支援計画作成会議において協議してきた。

##### ① モニタリングの実施

目標の達成状況の評価、目標に対する充足度、達成されない場合の原因の分析を行い、今後の支援内容を検討した。また、本人へ今までの支援経過について説明をするとともに、今後の目標について話し合った。

##### ② 個別面談の実施

本人と家族が同席のうえ、現在までの支援内容、経過を説明し本人、家族から要望などを聞き取り計画作成に生かした。

③ 個別支援計画会議の開催

利用者本人参加のもと、モニタリング及び個別面談の結果を踏まえ、目標・支援等について協議・決定した。

(2) 相談支援

利用者との個別面談を重視し、希望や悩みを適切に受け止め、迅速な対応に努めた。

(3) 作業支援

ひとり一人の作業への意欲を高め、達成感を味わわせるため、適切な目標設定、支援の具体化、利用者自身による自己評価、補助具等の作製等に力を入れた。できる作業が増え作業意欲が向上した利用者が増えている。

(4) 日常生活の基本的行動の定着への支援

言葉遣い、挨拶、手洗い、服薬、対人関係等で課題を抱えている利用者に対して、毎週の反省会時等を活用し担当職員を中心に継続した支援に努めた。

5. 健康・衛生管理について

(1) 「持ち込まない、広げない」を新型コロナウイルス感染症予防対策の基本方針として取組んだ。

① 事業所・送迎利用時の検温表提出

② トイレやドアノブ、食堂のテーブル等の消毒、作業室・食堂等における三密の防止、手洗い・うがいの支援、コップ類の洗浄消毒、食堂のテーブル等の消毒、送迎車両の消毒等の実施

③ 12月に多数の感染者が出たことを踏まえ、感染症対策の一部見直しを行った。

・朝の時点での体調不良者の把握、歯ブラシ・コップの各自管理、常時換気、食事交代時の食卓消毒の徹底、清掃時のゴミ集めの廃止

(2) 健康診断の実施

5月9日（月）から6月1日（月）にかけて早川医院において健康診断を実施し、自己の健康管理についての支援を行った。

(3) 新型コロナワクチン集団接種

第4回目接種 7月27日（水） 利用者33人・職員5人

第5回目接種 11月30日（水） 利用者31人・職員7人

(4) インフルエンザ予防接種

11月16日（水）スマイルセンターにて、早川医院による集団接種を行った。



6. 事故防止について

毎月、施設全体の設備等の安全点検及び防災教室、定期的防災・避難訓練を行い、利用者の安全確保に務めた。

(1) 地震及び火災、水害等を想定した防災・避難訓練、

○スマイルセンター 6月 8日(水) 11月 2日(水)

○フレンズ 8月19日(金) 11月22日(火)

○合同水害訓練 9月13日(火)

(2) 毎月の防災教室

安全への意識向上を図り危険回避行動がとれるようにする目的で実施している。

○実施内容

月	スマイルセンター		フレンズ	
	内容	担当	内容	担当
4	施設での過ごし方 ・作業や生活上の注意事項、衛生・健康管理項等	齋藤裕	施設での過ごし方 作業や生活上の注意事項、衛生・健康管理項等	飯土井
5	新型コロナウイルス感染症予防対策 ・3密の防止 ・手指消毒の徹底	吉田恵		
6			交通事故から身を守る ・交通ルール ・シートベルトの着用	飯土井渡辺
8	熱中症を防ぐ ・水分補給の重要性 ・外出時の注意 ・熱中症アラート	吉田恵		
10	身の回りの危険 ・危険なもの、場所、行為の確認と実践	西村	施設での過ごし方 ・他の利用者との付き合い方 ・他人への思いやり	飯土井
12	感染症を防ぐ ・寒さ対策 ・インフルエンザ対策	太田	感染症を防ぐ ・寒さ対策 ・インフルエンザ対策	渡辺

1	雪道の歩き方 ・滑りやすく転倒しやすい場所 ・歩き方 ・雪道を歩くのに適した靴の説明	齋藤裕	雪道の安全 ・安全に歩き方 ・転ばないようにするための靴の選び方	飯土井
2	地震から身を守る ・地震被害 ・身の守り方、避難方法	吉田恵 里子	地震から身を守る ・身の守り方、避難時の注意点	渡辺
3	今年度を振り返って ・アンケートをもとに作業、生活の反省	太田	今年度を振り返って ・作業、生活の反省	飯土井

## 7. 行 事

本年度もコロナウイルス感染症予防のため、計画の縮小、代替え行事等を検討しながら利用者の皆さんの事業所での生活に潤いと変化、利用者間及び職員との交流を図るため、以下の行事を実施した。

### (1) ピクニック

#### ① 目的

日頃より作業を頑張り、感染防止対策にも努めている利用者の慰労と気分転換を図り、コロナ禍のなかでも生活に潤いを味わってもらうことを目的とする。

#### ② 実施日時

1班： 令和4年6月2日（木） 12:00～15:30  
2班： 令和4年6月9日（木） 12:00～15:30  
3班： 令和4年6月14日（火） 12:00～15:30

#### ③ 実施場所

『りょうぜん こどもの村』

#### ④ 参加者

スマイルセンター 26人  
フレンズ 14人  
職員 9人

#### ⑤ 内容

昼食（屋外でお弁当） 公園内散策、ミュージアム見学

#### ⑥ 成果・反省

##### ア 成果

- ・久しぶりに外出行事を企画したことで、利用者が当日を心待ちにし、日々の作業にも意欲的に取り組むことができていたと思う。
- ・密を避けるため3班に分かれて実施した。一つの班が13名～15名なので、職員が3～4名で見守ることができた。

- ・施設のマイクロバスを利用し、お金をかけずに観光バス気分を味わうことができた。
- ・現地に大きな滑り台やシャボン玉、室内のミュージアム等があり、活発な利用者や静かに過ごしたい利用者それぞれが飽きずに楽しく過ごすことができた。
- ・天候が不安定であったが、休憩所やミュージアムを利用して快適に過ごすことができた。
- ・事前に下見に行き、駐車場から広場までの状態や、車の乗り入れ、車椅子トイレ等の確認をしたので、当日もスムーズに誘導することができた。
- ・お弁当とアイスもおいしいと好評だった。
- ・スマイルに残った利用者にもしっかり説明したことで、施設で落ち着いて過ごすことができていた。

#### イ 反省・改善点

- ・男子利用者が女子トイレに入ってしまうトラブルがあった。他に一般利用者がいなかったのご迷惑はかけなかったが、今後の外出行事の時に注意が必要。
- ・服がびしょ濡れになったり、足をくじいたりした利用者がいた。本人の不注意によるものではあるが、注意喚起をしながら見守る必要がある。
- ・久しぶりの行事であったが、節度をもって活動していた。

### (2) スマイル会

#### ① 目的

誕生月のお祝いをとおして、利用者同士の親交を深め合い、互いに思いやり敬う心をもち喜びを感じてもらう。

#### ② 内容

誕生月の利用者に、帰りの会で行事担当職員から誕生祝カードを贈る。

#### ③ 方法

ア 毎月15日をめどに終礼時、該当者にメッセージと写真入れのカードを贈る。

イ 該当者へのメッセージは全職員が記入する。

ウ カード作成は行事担当者が行う。

エ ケース担当の職員が手渡す。

### (3) 焼き物教室

#### ① 目的

陶器類がどのように作られているのか知識の向上を図り、自ら好きな形のものを作ることによって物を大切にすることの意味を知りながら、思い出作りをする。

#### ② 実施日時

令和4年10月5日(水) 13時～15時

#### ③ 指導者 白石 良二さん

#### ④ 実施場所

スマイルセンター作業室

⑤ 参加者

スマイルセンター・フレンズ利用者 27人

職員 9人

⑥ 内容

粘土で思い思いの作品を作った。焼成はスマイルセンターの電気窯を使用。

(4) 節分

節分に合わせ、楽しく会食する機会を設定した。恵方巻と豚汁を囲んで和やかに過ごすことができた。

(5) スポーツ&レクリエーション

3年ぶりにはまなす館にて実施。ポッチャ、よさこいを全員で楽しんだ。

(6) クリスマス会

12月20日にTKP ガーデンシティ仙台で実施する準備をしていたが、コロナ感染者が多数出たため前日に中止を決めた。当日、利用者全員に準備していたクリスマスカード、プレゼント、ケーキ、弁当を職員が手分けして自宅に届けた。

8. 職員の資質向上

コロナ禍の中でも各種研修会や会議がインターネット配信も含め徐々に通常に戻りつつある。可能な限り参加し職員の資質向上を図るよう努めた。

(1) 出張研修等

開催月日	会議名	場所	参加者
4月22日	福島県知的障害福祉協会定期総会及び第1回施設長・管理者等連絡協議会	ZOOMによる	施設長
5月13日	第1回実習指導者会議（相馬看護学校）	ZOOMによる	吉田雄
5月13日	相双障がい保健福祉圏域連絡会人材育成部会フォローアップ実践研修	ZOOMによる	施設長
6月8日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長 齋藤裕保
6月9日	第1回相双地域障害者雇用連絡会議	道の駅南相馬	施設長

6月10日	福島就業支援ネットワーク総会・研修会	ZOOMによる	施設長
6月16日	東北地区知的障害者福祉協会定期総会及び施設長・管理者連絡会	ZOOMによる	施設長
8月10日	市自立支援協議会就労支援部会	はまなす館	齋藤裕保
10月12日	市自立支援協議会就労支援部会	はまなす館	齋藤裕保
11月9日	市自立支援協議会就労支援部会	はまなす館	齋藤裕保
11月10日 ～11日	強度行動障害支援者育成研修(実践研修)	郡山市音楽・文化交流館	西村
11月21日 ～22日	県サービス管理者等者等実践研修	太陽の国管理センター	齋藤
11月9日	市自立支援協議会就労支援部会	はまなす館	齋藤裕保
12月14日	第2回施設長・管理者等連絡協議会	ZOOM	施設長
12月14日	虐待防止・権利擁護について考える。	ZOOM	吉田雄 西村 齋藤裕
12月15日	自立支援協議会地域包括ケア検討部会	はまなす館	西村晃枝
1月11日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	齋藤裕保
1月27日	個別移行支援会議	相馬支援学校	吉田雄二
2月8日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長 齋藤裕保
2月15日	第2回相馬市地域自立支援協議会運営会議	正庁	施設長

2月20日	行動障害のある方への支援	県環境放射線センター	太田一恵
2月22日	虐待防止責任者、管理者等研修会	ZOOM	吉田雄二 飯土井真由美
3月1日	相双障がい保健福祉圏域連絡会	県環境放射線センター	施設長
3月17日 ～19日	強度行動障害研修	ZOOM	齋藤裕保

(2) 外部講師招聘による施設内研修

① 講師招聘による研修会

- ア 日時 令和5年2月10日 17時から  
イ 内容等 人権、権利擁護、虐待防止について  
エ 演題 「障害者差別解消と小さな不適切な対応」  
オ 講師 相馬地方基幹相談支援センター拓  
管理者 須藤康宏様

9. 地域交流

(1) ボランティア受け入れ (延べ人数)

- 作業 24名 (実数 4名)  
生け花 24名 (実数 1名)

10. 参観見学及び研修等受け入れ

(1) 参観見学

- 一般 8名

(2) 研修

- 相馬看護学校生徒 2名 2日間  
7月19日～7月20日  
仙台子ども専門学校生 1名 2週間  
①月26日～10月7日

※相馬市小中学校新採用教員初任者研修 (社会奉仕体験活動研修)  
コロナ感染拡大のため中止

11. 実習生の受け入れ

相馬支援学校高等部産業現場等における実習

- 相馬支援学校1名 高等部3年 (スマイルセンター) 2週間

6月13日～6月24日  
相馬支援学校1名 高等部2年（スマイルセンター）4日間  
11月14日～11月18日

12. 保護者との連携

(1) 保護者役員会との懇談 11月24日

保護者の要望や運営等に関する意見を聞く懇談会を実施した。

(2) 役員会等への参加

役員会には理事長、施設長、担当者が毎回出席し、保護者会の活動へのアドバイスや要望の聴取を行うなど、協力体制を強化した。

月 日	内 容 等	
4月 7日 (木)	監査会	保護者3名
4月19日 (火)	第1回保護者会役員会	保護者7名 職員3名
5月13日 (金)	第2回保護者会役員会	保護者7名 職員3名
5月31日 (火)	第3回保護者会役員会	保護者5名 職員2名
9月21日 (木)	奉仕作業	保護者17名 全職員・利用者
10月18日 (火)	第4回保護者役員会	保護者6名 職員2名
11月24日 (火)	保護者会懇談会	保護者5名 職員3名
2月 2日 (木)	第5回保護者役員会	保護者7名 職員3名
2月26日 (日)	臨時保護者会総会	保護者16名 職員3名